





2023年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画書

		理事長	院長	副院長	看護部長	事務長					
											
年度方針	重点実施事項	上期計画(期間4月～9月)					下期計画(期間10月～3月)				
①新病院体制の構築	・病院の方針、将来構想の訓示	・4月院長より全職員に向け方針・構想等について訓示する。					・看護補助者の採用の促進 ・看護師の増員、離職率の改善 ・業務の効率化を図り、残業時間を減らす ・救急対応の勉強会開催				
	・よりよいチーム医療の構築										
②看護職員・看護補助者の増員	・ハローワーク・求人広告・紹介会社・HPなど幅広く利用し、年齢制限も緩和し広く募集をかける。	・病棟看護職員3名増員計画 ・外来看護職員2名増員計画 ・病棟看護補助者2名増員計画					・希望者には、面談を行い心と身体のケアを行う。 ・看護職員の賃金引上げの交渉をすすめる ・夜勤従事者の待遇改善				
③院内感染予防対策	【院内クラスターを防止する為に】	・職員の感染者管理のためコロナ検査キットの配布 ・マスクの着用、アルコール消毒基本の予防策を徹底					・医療安全対策の強化・意識づけ				
	・職員マニュアルの遵守、周知徹底 ・院内感染対策を全館において遵守										
		上期評価(期間4月～9月)					下期評価期間(10月～3月)				
		・看護職員7名の採用に至った。1名は健康を理由に退職					・看護職員(入職予定者・看護学生含む)6名採用。				
		・救急の受け入れが本格化し現場では、まだ戸惑いがあり職員には疲弊感がある					看護補助者2名採用(1名退職)離職率が高く、業務改善、賃金見直しが必要。				
理念と基本方針		・8月の医療事故を受け、ハード面の整備、夜勤者への負担軽減など課題である。					・夜勤者の負担軽減に、10月より看護師遅出を試験開始				
【理念】 病める人々には赤心をもって接し、自らは碩診たるを求む		・院内感染対策は十分行えている。					・救急不安解消の一環としてBLS講習会の実施				
【基本方針】											
1. 安全な医療を提供します		理事長					理事長				
2. 地域に根ざした医療を行います											
3. 病診連携に努めます											
4. 職員の教育に力を入れます		